

Topic 1

現役合格への道 ~ 併願校決定の鉄則 ~

受験生はこの時期、模擬テストの合格判定が現実味を帯びてきて、併願校を具体的に決定していく時期になります。いままでは憧れの第一志望のみを「志望校」としてきた人も、**併願校を適切に決めることによって、第一志望校合格の可能性も高まってきます。**以下のポイントをチェックして、自分にとって最適な併願校を決定してください。

◆ 受験校のレベルを適切に選ぶ

特別の事情がない限り、「国立しか受けない」とか「早稲田一本」といった受験の仕方は避けましょう。模擬テストの合格判定から、安全校（A・B判定の大学）、実力相応校（B・C判定）、挑戦校（C・D判定）をそれぞれ決めましょう。安全校を2校、実力相応校を3校、挑戦校を4校受けると9校を受験することになり、合格の可能性はぐっと高まります。現役生は、模擬テストが終了する12月以降も実力は上昇します。C・D判定の大学学部を多めに受けておくのが戦略的にもベターです。

◆ 入試科目の確認と決定

併願校でしか使用しない入試科目があると、勉強の効率は落ちます。第一志望でしか受験しない科目であればやる気も起きますが、併願校でしか使用しない場合は、勉強にかかる時間も少なくなり、得点率が低くなりがちです。第一志望に合格するために、その科目がどれほど必要なかを考え、思い切って捨てる（併願校を変更する）のも一策です。「第二志望の大学にだけ古典が必要」などという時は、古典の必要のない大学学部を他に探すのがよいでしょう。

◆ 受験校カレンダーの作成

連続受験は予想以上に体力を消耗します。朝早くから1日ばかりで受験し、翌日の準備などで追われ、集中した勉強時間が取れません。それが4日も続くと、肝心の学力そのものが落ちてしまいます。3日連続が限度と考えましょう。その際も、3日目に第一志望を受験するスケジュールは避けましょう。

また、第一志望がその年の受験の1回目というのもよくありません。思わぬハプニングや極度の緊張から、実力が出し切れないことも多々あります。第一志望の受験の前に、すでに1度受験を経験していることが必ずアドバンテージとなります。「受験校カレンダー」は高校で提出を求められることもありますが、そうでなくても自分で作成して、ベストを尽くせるよう準備に万全を期しましょう。

推薦入試・AO入試 合格&内定の報告

- 明治大学 経済学部経営学科合格内定
松山高校 飛田光里くん
- 自治医大 看護学部 看護学科
伊奈学園 金子笑里さん
- 中央大学 理工学部数学科指定校推薦内定
西武文理高校 杉田 凌摩くん
- 日本大学 文理学部 中国語 指定校推薦内定
秩父高校 黒沢 由佳さん
- 東京電機大学 合格内定
松山高校 宮下 大悟くん
- 東京電機大学 指定校推薦内定
秩父高校 星田 開人くん
- 明星大学 教育学部教育学科合格内定
伊奈学高校 加藤 亜美さん
- 十文字女子学園大学 人間生活学部 児童教育学科合格
秩父高校 山口 莉加さん
- 十文字女子学園大学 人間生活学部 児童教育学科合格
松山女子高校 新井桃葉さん

1 高校生物 「重要用語」 現行の4分の1に厳選

日本学術会議は9月28日、報告書「高等学校の生物教育における重要用語の選定について」を公表した。理科の他の教科に比べて膨大な量とされる高校「生物」の重要用語を見直し、最重要語254語、重要語258語、計512語を学習用語として選定している。現行の主要教科書出版社が出版する高校「生物」の教科書では、のべ2,000を超える用語が重要用語であるとされている。これは、理科の他の教科に比べて極めて多く、生物学が暗記を求める学問であるという誤解を生んでいる。また、生物科学や生命科学の方面に進むことを志望していながら、知識を詰め込む科目という認識から、「生物」を敬遠して生物系学部や医学部でも「生物」を履修していない学生が入学してくることも珍しくないという。

現在、学習指導要領の新たな改定時期を迎えており、中央教育審議会の答申でも重要用語を中心に整理することが求められていた。そこで、現行の高校「生物」の教科書の調査、インターネットを駆使した頻度分析、1998年に編纂された「生物教育用語集」の理念を踏襲した選定作業を行い、高校の生物教育で学習すべき最重要語254語、重要語258語、計512語に絞り込んだ。

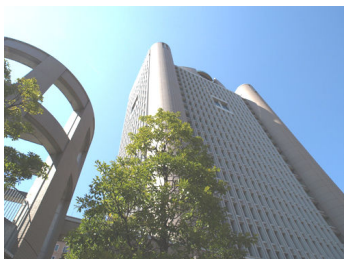
報告書は「重要用語リストに選定しなかった用語を、教科書で使わないとか、高校の生物教育の現場で教えないことを求めるものでは決してない。重要用語として教科書中ゴシックで扱われる語を減らそうというのが小委員会としての提案」と明言している。

2 協定締結 明治、法政、関西の3大学

明治大学と法政大学と関西大学は9月25日、連携協力協定を締結した。今後は、教育・研究をはじめ、学生の国内留学制度の構築、産学連携、地域社会への貢献、学生の交流など、多岐にわたって連携・協力を図っていく。3大学は、いずれも明治初期の1880年代に創設され、東京・大阪という都市部に位置する私立の総合大学。法学教育をルーツとし、「日本近代法の父」と呼ばれたボアソナード博士が設立時に強い影響を与えているなどの共通点がある。

協定締結は、3大学が連携協力して教育研究活動の一層の充実と質の向上を図り、学術の発展と優れた人材の育成に寄与することが目的。具体的には、「教育」「研究」「産学連携」「地域社会への貢献」「学生の交流」「教職員の能力向上・人材育成」など、7項目について連携・協力。グローバル化に向けた協力関係、学生の国内留学制度の構築など、幅広い分野で連携を強化していく。

9月25日に関西大学東京センターで行われた調印式には、3大学の学長が出席して、協定書に署名し、各大学の特色や展望などについて話し合った。明治大学の土屋学長は「新しい教育のイノベーションの時代を迎えている。3大学が連携して教育改革を模索することは、将来における日本の大学の姿というものを新しく創出するきっかけになる」とコメントした。



明治大学



法政大学



関西大学

3 大学入学共通テスト プレテスト実施

大学入試センターは10月6日、大学入学共通テスト導入に向けた試行調査(プレテスト)を全国約1,900校の高等学校と中等教育学校で実施すると発表した。実施期間は11月13日～24日。

文部科学省が7月に公表した「大学入学共通テスト実施方針」において、2020(H32)年度より実施される「大学入学共通テスト」の問題作成や採点方法などについてプレテストを通じた検証を行うこととなった。これを受けて、大学入試センターでは、2017(H29)年度と2018(H30)年度に試行調査(プレテスト)を実施する。これまで「プレテスト」という呼称だったが、よりその趣旨・性格が明確になるよう、「試行調査(プレテスト)」という呼称に改めた。

2017年11月の試行調査(プレテスト)では、マーク式問題を含め、知識の深い理解と思考力、判断力、表現力を一層重視した問題作成の工夫・改善を行い解答状況等を分析する。また、記述式問題における形式面・内容面にわたる正答の条件のあり方や採点体制、採点期間等について検証を行う。

医療・福祉系を目指す人におすすめの奨学金は？

基本的には「貸与型」だが、卒業後に奨学金を運営する組織や団体などが定める諸条件をクリアすれば「給付型」になる、つまり受け取った奨学金の返還を免除されるものもある。

こういった「特殊タイプ」は、医師や看護師、社会福祉士などを目指す人が対象となっている。そのため、これらの資格を取得できる大学を受ける人には、利用価値の高いおトクな制度だ。

具体的には、これらの職業を目指すために大学に入学し、奨学金を利用して卒業(卒業見込みを含む)の後、国家試験に合格すれば、奨学金を貸与した団体や機関、自治体などが運営する病院などの医療機関で一定期間働くことで、返還が免除されるというものだ。

特に、看護師を目指す人向けの奨学金は、地方自治体のほかに、規模の大きい病院なども独自に実施しており、利用できる可能性は比較的高い。

いろいろな奨学金から自分が利用可能なものを選ぶ

現在、日本の奨学金制度で最大のものは、日本学生支援機構が運営する国の奨学金制度で、利用者は約 132 万人(大学院生、短大生、専門学校生なども含む。2013 年実績)もいる。他の奨学金制度の利用者数は、多いところでも数百人～数千人程度なので、現状では最も身近で利用しやすい制度と言えるだろう。

地方自治体(都道府県や市区町村)や、民間の企業などが資金を出して設立した育英団体が実施する奨学金制度も数多くある。前者は貸与型が大多数で、後者は給付型が多いかわり、応募条件が厳しい。しかも、いずれも募集人員が少ない。

ここで見逃せないのが、各大学・短大などが独自に運営している奨学金制度だ。多くの学校が、貸与型と給付型を併用して実施し、その数は増加傾向にある。特に、私立大はほとんどが実施していると言ってもよく、しかも貸与型が増えつつある。中でも、入試を受ける前に給付が内定するタイプ(入試前予約型)が注目を集めている。

この他にも、さまざまな奨学金制度がある。例えば、大手新聞社では、朝・夕刊を配達しながら各大学に通うことができる「新聞奨学生」を募集している。仕事はとてもハードだが、きちんと働けば、奨学金以外に、給料なども支給される。

保護者が事故や災害に遭ったことが原因で、家計が困窮している家庭の子どもを対象とした「あしなが育英会」や、保護者が交通事故で死亡したり後遺症のため働けなくなったりした家庭の子どもが対象の「交通遺児育英会」などの奨学金制度もある。また、母子家庭など、さまざまな理由で生活が困窮している家庭の子どもに対する奨学金制度も、地方自治体などで実施されている。

奨学金制度を利用するときのポイント

・利用しやすいのは？	貸与型(利子あり) > 貸与型(利子なし) > 給付型・特殊型
・おトクなのは？	給付型・特殊型 > 貸与型(利子なし) > 貸与型(利子あり)

奨学金制度 これだけは知っておこう！

・日本は圧倒的に「貸与型」が多い！「給付型」は狭き門！
・どの奨学金制度も、自分から申し込まないと利用できない！
・最大規模の日本学生支援機構による奨学金制度は、他の奨学金制度と併用できる！

奨学金制度を上手に使うには？

・医師や看護師などを目指す人は、特殊型がねらい目！
・各大学独自の給付型の奨学金制度が次々に登場しているので、要チェック！
・入学までにかかる費用は教育ローンを利用！
・入学後の学費や生活費は奨学金を利用！

日本学術会議は9月28日、報告書「高等学校の生物教育における重要用語の選定について」を公表した。